令和7年７月３日

令和７年第二回定例会を終えて（談話）

中央区議会自由民主党議員団　幹事長　海老原 崇智

令和７年第二回中央区議会定例会が７月３日に閉会しました。今定例会では、一般会計補正予算を含む全41議案が審議され、すべての議案が原案通り可決・承認されました。

一般会計補正予算では、我が会派の令和7年度政策要望（中央区制施行80周年に向けた取り組みや物価高騰対策など）も反映され、約4億2100万円が示されました。6月30日の本会議では、賛成多数で可決されました。今回示された事業は以下の通りです。

・地域の魅力発掘・発信支援事業　2500万円

・個人向け防犯機器等購入費用助成　600万円

・東京湾大華火祭　約3660万円

・障害・介護サービス事業所、保育所等に対する物価高騰緊急支援　約9340万円

・私立認可保育所の開設準備経費補助　約1億4850万円

・保育料負担軽減の拡充（第1子無償化の実施）　約1億円

・晴海西小学校仮設増築等の整備　債務負担行為限度額　6億9080万円

・日本橋中学校改築及び千代田公園再編整備　債務負担行為限度額　約16億2240万円

・インフレスライド条項の適用に伴う工事費の増額　約1125万円

我が会派からもいくつかの質問を行いました。**「地域の魅力発掘・発信支援事業」**については、令和6年度の補正予算で300万円が計上され、本年度の当初予算では1000万円の予算が示されました。今定例会で、2500万円の追加補正となった経緯について、区内各地域でまちの魅力発掘に活用されており当初予算で想定された規模を上回る反響となった旨の答弁がありました。また、平成27年度を最後に休止している「**東京湾大華火祭」**ですが、区制施行80周年記念事業として令和8年度の開催を見据えて動き出しています。11年ぶりの開催となるため、環境・気候の変化、物価高騰の影響を踏まえ、警備体制を含む安全対策が万全となるよう、実施計画の段階からの十分な検討を要望しました。この他、人口増加による防犯対策や保育・教育環境の整備、物価高騰緊急支援など区内の状況を踏まえた対策が取られていることを高く評価し、補正予算に賛成いたしました。

私たち中央区議会自由民主党議員団は、皆様からの貴重なご意見・ご提案を賜りながら、より良い中央区の実現に向けて邁進してまいります。